

戦後70年に長崎から世界へ

受難の歴史が織りなす「いのち」の物語

台本構成 | 星出 豊

作曲 | 錦 かよ子

芸術監督・指揮・演出 | 星出 豊

演出補 | 馬場 紀雄

美術 | 川口 直次

照明 | 奥畑 康夫・西田 俊郎

音響 | 白石 安紀

衣裳 | 下斗米 雪子・小林 利津子

メイク | イマアジュ 田中 尚美

振付 | 加藤 真知

舞台監督 | 橋詰 陽子

コレペティトル | 山浦 直子

副指揮 | 松井 雅司・和田 丈広・仲田 淳也

現地スタッフ統括 | 濱田 浩充

Cast 9/5 9/6

中沢夏子	松本佳代子	原 さとみ
松尾邦夫	加々良 弦	藤原 海考(客演)
山田 昇	松尾 敬	大石 洋史(客演)
山田トシ	北川 クミ	村岡憲理子
岩村女医	野田 晃子	富永 宏美
奈々子	篠 暁子	高原佐藤子
オサキ	山口 明美	
信夫	吉野 良介	
武雄	綾部 修	
浩司	高木 浩行 松尾 豊明	
トメ	高木 みどり	
看護婦	出口 綾佳	
てる	江口 優子	
吉蔵	吉野 良介	
役人	塚原 航太	
僧	上田 良樹	

OMURA室内合奏団

長崎県オペラ協会合唱団

長崎県オペラ協会児童合唱団

かとうフィーリングアートバレエ

主催 | 長崎県オペラ協会

協賛 | 長崎市

助成 | (公財)三菱UFJ 信託芸術文化財団

後援 |

長崎県 長崎県教育委員会 長崎市教育委員会

長崎県音楽連盟 NHK長崎放送局

NBC長崎放送 KTNテレビ長崎

NCC長崎文化放送 NIB長崎国際テレビ

FM長崎 長崎ケーブルメディア 長崎新聞社

朝日新聞社 毎日新聞社 読売新聞西部本社

西日本新聞社 長崎国際観光コンベンション協会

(公財)長崎平和推進協会

いのち

OPERA
INOCHI

[全3幕 | 日本語上演/新演出]

長崎県オペラ協会第37回定期演奏会

オペラ「いのち」

2015年

9/5 6

18:00 開演 17:00 開場 14:00 開演 13:00 開場

長崎ブリックホール 大ホール

入場料(税込)

S席 | 6,000円 A席 | 4,000円 一般自由席 | 3,000円

学生自由席 | 2,000円(高校生以下) 車椅子席 | 2,000円

親子席 | 4,000円(一般自由+学生自由のペア)

※未就学児入場不可

チケット取り扱い | 浜原プレイガイド 総洋会楽器店 くさの書店西友店

ローソンチケットLコード: 85443

チケットお申込み | TEL/FAX 0957-56-9089 PHS 070-5278-1980

E-mail nagasaki_opera1980@major.ocn.ne.jp

◎託児所あり(無料): 申込マッ切8月8日(土)

担当 | 出口 080-1721-4214 E-mail inochi-takuji@docomo.ne.jp

OPERA INOCHI

Nagasaki
OPERA
ASSOCIATION

“被爆者の思いを音楽で「継承」していきたい。”

2013年8月、長崎にて世界初演、続く9月の三重公演から2年の時を経て、
この夏「新国立劇場地域招聘公演」に招聘され東京公演が実現します。
そして9月、長崎市被爆70周年記念事業の一環として長崎での凱旋公演が
決定しました。新たな演出による長崎公演にご期待ください。



芸術監督 | 星出 豊

長崎市被爆70周年記念事業 | 長崎県オペラ協会第37回定期演奏会

いのち
OPERA
INOCHI

| あらすじ |

[全3幕 | 日本語上演]

【第1幕】

松尾医師は妻の夏子を原爆症で亡くした。彼は墓参りの帰り、僧から妻が大好きだった“つつじ”を貰い、彼女の幻影に出会ったのではないかと錯覚し号泣する。自分の過去を振り返り、子供たちに戦争の悲惨さを、そして“いのち”の大切さを思う松尾は、日本の歴史の中でも大切な事件の一つ、キリシタン弾圧を語る。

原爆投下の日、松尾は福岡に出張中で被爆しなかった。恩師の山田医師は長崎で診療中に被爆した。看護婦の夏子は防空壕に入る間に閃光を浴びた。この3人の心の葛藤が描かれる。1957年、死を目前にした山田は、松尾に自分の被爆経験を語ろうと決心をする。

【第2幕】

原爆投下日、浦上地区の人々は必死に裏山から逃げ道を探した。山田医師夫妻は出張をしていた病院で被爆し治療を行っていたが、自分の病院が心配になり裏山から穴弘法寺まで来ると、浦上の被害の大きさに驚く。妻のトシとはここで別行動をとることになり二度と会うことはなかった。被爆した人たちが次々に登場し、そのうちの一人の子ども、奈々子が戦争で変わってしまった人間の心を歌う。夏子は急ぎ病院に駆けつける途中、この場所を通り奈々子に会う。夏子は奈々子を助け裏山を通り病院へ。

【第3幕】

戦後14年初秋、山田医師の後を継いだ松尾と夏子がグラバー邸を訪れ、元入院患者たちに偶然再会する。被爆者の話をする彼らに同情するが、自分の病状を松尾に隠している夏子はあまり多くを語らず別れた。松尾と夏子の愛は深まるが、何回求婚しても夏子は返事はぐらかす。その日も夏子は「ありがとう」の言葉を残し走り去るが、入り口で倒れて病院に運ばれる。被爆者である担当女医岩村は、夏子の心を救うために、自分の過去と夏子の病状を初めて松尾に告白する。松尾は夏子の好きな“つつじ”の絵を持って病室を訪れ、もう一度結婚を申し込む。夏子は自分の“いのち”の短さを感じながらも、その心に変化が起きる。1960年結婚、翌1961年夏子死す。大合唱の中、梵鐘の音と教会の鐘の音が聞こえてくる。

Cast



松本佳代子



加々良 弦



松尾 敬



北川 クミ



野田 晃子



篠 暁子



原さとみ



藤原 海孝(客演)



大行 洋史(客演)



村岡恵理子



富永 宏美



高原佐喜子



山口 明美



吉野 良介



綾部 修



高木 浩行



松尾 豊明



高木みどり



出口 綾佳



江口 愛子



塚原 航太



上田 良樹

≡やむを得ない事情により出演者等が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

1945

2015